

みやぎNPO夢ファンド（C）スタートアップ支援プログラム
平成21年度助成事業 最終報告書

平成21年 12月 17日

団体名	牡蠣の森を慕う会
事業名	NPO 法人 森は海の恋人 設立記念シンポジウム開催事業
助成金を使って行った事業について、ご記入ください。 （事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください）	
1. NPO 法人 森は海の恋人 設立記念シンポジウムの開催	
1) 開催結果の概要	
① 開催日時 平成21年6月6日（土） 13:30～17:00	
② 開催場所 気仙沼市民会館 中ホール	
③ 参加費 無料	
④ 参加者数 193名（入場者数カウント）	
⑤ その他 参加者へアンケートを実施した （アンケート回収数 93通、回収率 48%）	
2) 当日のプログラム	
開 会（13:30）	
開会挨拶 NPO 法人 森は海の恋人 理事長 畠山 重篤 来賓挨拶 気仙沼市教育委員会 教育長 白幡 勝美 氏	
基調講演（14:00～14:40）	
演題 『「森は海の恋人」と「森里海連関学」』 講師 京都大学名誉教授、マレーシア サバ大学客員教授 田中 克 氏	
活動説明（14:40～15:00）	
休 憩（15:00～15:15）	

助成金を使って行った事業について、ご記入ください。(続き)

パネルディスカッション (15:15～16:45)

～灯台下暗し!? 気仙沼の魅力を活動に活かそう!～

コーディネーター 島山 重篤

パネリスト 立林 昭彦 氏 (株) 文藝春秋取締役 月刊「文藝春秋」局長

内田 正洋 氏 海洋ジャーナリスト、
(社) 海洋緑化協会 キャプテン

谷山 友夫 氏 気仙沼自然塾グリーンメイツ代表

鈴木 健一 氏 鈴木健一税理士事務所 代表

質疑応答 (16:45～16:55)

閉会 (17:00)

3) スタッフと外部講師

① スタッフ (NPO 法人 森は海の恋人理事、会員)

シンポジウム出演・・・島山重篤、田中克、鈴木健一
事務局・その他・・・島山信、吉川嘉彦、大村隆雄
ボランティアスタッフ (2名)

② 外部講師

立林 昭彦、内田正洋、谷山 友夫



パネルディスカッション



プロジェクタを使用した活動説明



会場の様子①



会場の様子②

今回の事業によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

<団体成果・効果>

① 参加者数等

目標) 参加者数・・・200名(半数以上を気仙沼市内から)

結果) 参加者数・・・193名(気仙沼市内の参加者45%、アンケートの結果から推定)

設定していた目標には及ばなかったが、目標に近い結果が得られました。チラシを置いていただくために近隣のスーパーや関連機関をすべて回ったので、それ自体が法人の活動広告になったと思います。

② 会員数の増加

シンポジウム参加者から、最終的に23名がご入会くださいました。現在の会員総数は47名ですので、約半数をこの事業で獲得することができました。

③ 地元紙のバックアップ

県からの助成事業でもあることから、地元紙で繰り返し大きく取り上げていただきました。これにより、気仙沼近隣地域へ法人設立、活動内容の周知に大いに役立ちました。

<地域社会への効果>

この事業を実施することによって、環境問題に関する問題意識の提起と、その解決・改善にむけての具体的な活動として当法人が設立されたこと、また、それを気仙沼から発信することの重要性について周知する大きなきっかけになったと思います。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

①活動の参加者について

今回の事業によって、活動への多くの賛同者を得ましたが、その後の活動への参加者はあまり増えませんでした。本事業によって上昇した活動の活性化への機運を、運営サイドが上手く捉えることができなかつたのが原因と思われます。

この状況を改善するために、着実に活動の実績を積み重ねることと、活動を続けていくなかで、定期的に地元の方への活動報告会を設けることで信用と理解を求めていきたいと思ひます。また、運営サイドとしては、より参加しやすい体制や企画を考えて実行していきたいと思ひます。

②協力団体について

法人として初めての事業を行うにあたって、様々な困難を思い知らされました。とくに、様々な場面で経験不足と人手不足を痛感しました。法人の立上げで精一杯のところがあり、実際には不可能でしたが、すでに活動を始めている諸団体からの協力が得られていれば、随分と結果が変わっていたと思ひます。そのため、現在では気仙沼市民活動支援センターの協力のもとに、気仙沼の諸団体との交流を深め、お互いの活動に関しての情報交換や協力体制づくりにむけて会合を開くようになりました。そのほかにも、様々な団体との交流に努めています。次年度には、協働での事業を企画するまでの関係になった団体もできました。今回の事業を実施することによって、諸団体との協力体制の重要性に気づくことができたのは我々にとって大きな収穫でした。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか。

今回の事業は、法人の立上げに関する事業でした。その結果、地元への情報の周知という点においては、十分な効果が得られたと思います。しかし、その後の法人活動に効果的な活用ができたとは言えません。今後は、今回の事業で周知できた法人の情報が定期的に更新されるように、企画の実施と情報発信に努めたいと思います。

法人に関しては、人的にも資金的にも厳しい運営状況ですが、様々な場面で需要があることも事実です。次年度は、地元公民館との提携事業や、活動拠点の確保とその場所での定期的な活動の実施を企画しています。より参加しやすく、楽しさが共有でき、主体的に活動に関われるように事業展開していきたいと思っています。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	200,000	200,000	
団体負担金	60,000	51,744	
合計	260,000	251,744	

支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
告知チラシ作成	23,300	9,300	A4 カラー両面 2000部
チラシ配送料	4,000	11,568	メール便 80円×106=8,480円 封筒代 2,190円 宛名ラベル 898円
シンポジウム・パンフレット	12,200	9,454	コピー用紙代 2,766円 印刷機使用料 900円 クリアフォルダー 3,588円 ボールペン（アンケート用） 1,100円×2箱=2,200円
横断幕	20,500	8,245	紙製横断幕×1枚
会場費	10,120	12,880	気仙沼市民会館中ホール等使用料
講師交通費	50,680	24,940	東北新幹線東京～一関×1名
講師謝金	80,000	110,000	40,000円×2名、30,000円×1名
機材レンタル料金	59,200	56,280	プロジェクタ、幕、送料こみ
雑費	0	9,077	講師交通券郵送費 380円 駐車場代 400円 講師用のお茶・菓子 2,112円 色マジック・名札 609円 A4ファイル 596円 キャッシュBOX(会費受付用) 4980円
合計	260,000	251,744	

寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

NPO 活動を一から始めるにあたって、この助成金によるご支援が本当に役立ちました。著名な講師を招くことができたシンポジウムは、地元紙にも大きく取り上げられ盛況のうちに終わることができました。立上げが成功したおかげで、その後の活動をスムーズに行えました。この度は、本当にありがとうございました。心からお礼申し上げます。